

平成28年司法試験 合格体験記

平成26年度修了（既修コース）安井 悠気

1. 自己紹介

10期既修の安井悠気です。私は京都府の出身で、滋賀大学経済学部を卒業後、平成27年に本法科大学院を卒業し、平成28年の司法試験に合格しました。

2. 勉強について

司法試験を受験するにあたり、まず必要なことはしっかりと勉強時間を確保することです。これについて異論はないと思います。中には一日14時間、15時間も勉強している受験生がいるとも聞きます。そのような受験生に水をあけられないためにも勉強時間の確保は合格への絶対条件です。

もっとも、勉強時間の確保だけでは十分ではありません。合格には勉強の方向性がとても重要です。これは身をもって体感しました。私たちは司法試験が求める方向に向かって勉強することを常に意識しなければなりません。これが意外と難しく、自分の勉強が適切な方向に向かっているのかを判断することは容易ではありません。司法試験の合格に向けて勉強をする際には常に自分の勉強方法を客観的に検証し、それがどれほど合格にとって有用かを測っていく必要があります。そのためには、数多くの演習を積んで他者の評価を受けることが大事になってくると思います。

以上2点を守ることが合格への近道なのではないかと私は考えています。

3. その他

今は日々授業や自学自習に追われ大変だと思いますが、しっかりと目標を持っていればこのつらい期間も絶対に乗り越えられると思います。今、しっかりと頑張れる人には必ず結果がついてくると思うので、さまざまな誘惑をはねのけ勉強に励んでください。

4. 最後に

いままで様々な方面でいろいろな負担を掛けてきました。今後、社会においてそのような負担に見合った働きができるよう、社会のために貢献できる人物となるべく励んでいきたいと思っています。お世話になった方には、ここでお礼申し上げます。ありがとうございました。